

科目	美容基礎理論	学科/学年	トリマー高等専攻科 1年	時間数	18	授業回数	9	
担当教員	工藤 公康			実務経験 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	授業形態	講義		
学習目標	1・2年次に習得した基礎知識を更に深く学び、グルーミングマニュアルで学習したスタンダードを考慮したカットが犬種ごとにでき、更にペットカットの応用が時間内にできることを目指す							
使用教材	モデル犬・グルーミングマニュアル、問題集・配布資料 他							
評価基準	授業態度 学期末試験							
	テ	マ	内					容
1	ペットカットのいろいろなアレンジを知る		プードル二頭のモデル犬を使用し、編みこみや三つ編み、いろいろなバリエーションを学ぶ					
2	ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリア		グルーミングマニュアルを使用し、基本的なウェスト・ハイランド・ホワイト・テリアのブラッキングの順番、ポイント、カット技法を知る					
3	プードル (パジャマ・ダッチ・クリップ)		基本で学んだケネル&ラムクリップを基に、更にクリッピング箇所が増え、バンドの入る位置よってのバランスの違いをグルーミングマニュアルを使い学ぶ					
4	トリマー問題集の復習		1・2年次で学んだトリマー問題集の復習					
5	トリマー問題集の復習と問題を解く		1・2年次で学んだトリマー問題集の練習問題を解きながら理解をより深める					
6	犬の被毛とシャンプー剤について		基礎的な皮膚や被毛について学び、その犬に合ったシャンプー剤を自分で選ぶことができる					
7	犬の被毛とシャンプー剤について		基礎的な皮膚や被毛について学び、その犬に合ったシャンプー剤を自分で選ぶことができる					
8	オリジナルカットのプードルのデザインカット画を描く①		個体や生活環境に合ったカットをお客様に提案するにはどうすればよいかを学ぶ					
9	オリジナルカットのプードルのデザインカット画を描く②		デザイン画の下描き、コンセプトの提案・デザイン画を描く・デザイン画の色付け、張り出し					

科目	犬種別講習	学科/学年	トリマー高等専攻科 1年	時間数	18	授業回数	9
担当教員	鈴木美穂			実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	授業形態	講義	
学習目標	1・2年次に習得した基礎知識を更に深く学び、グルーミングマニュアルで学習したスタンダードを考慮したカットが犬種ごとにでき、更にオリジナルカットについても実習する。						
使用教材	モデル犬・グルーミングマニュアル						
評価基準	授業態度 学期末試験						
	テーマ		内容				
1	ペットカットのいろいろなアレンジを知る		モデル犬を使用し、いろいろなバリエーションを実際に行う				
2	ポメラニアン		実際にカットを見学しシザーの入れ方やカットの方法やスタイルを学び理解し実際に行う				
3	ペットカットのいろいろなアレンジを知る		プードル二頭のモデル犬を使用し、編みこみや三つ編み、いろいろなバリエーションを実際に行う				
4	シー・ズー		実際にカットを見学しシザーの入れ方やカットの方法やスタイルを学び理解し実際に行う				
5	ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリア		グルーミングマニュアルを使用し、基本的なウェスト・ハイランド・ホワイト・テリアのブラッキングの順番、ポイント、カット技法を実際に行う				
6	ミニチュア・シュナウザー		グルーミングマニュアルを使用し、基本的なミニチュア・シュナウザーのブラッキングの順番、ポイント、カット技法を実際に行う				
7	プードル (パジャマ・ダッチ・クリップ)		基本で学んだケネル&ラムクリップを基に、更にクリッピング箇所が増え、バンドの入る位置よってのバランスの違いをグルーミングマニュアルを使い実施する				
8	アメリカン・コッカー・スパニエル		グルーミングマニュアルを使用し、基本的なアメリカン・コッカー・スパニエルのスイニングの順番、ポイント、カット技法を実際に行う				
9	プードル (コンチネンタル・クリップ)		長毛のブラッシング、ピンブラシの使い方、クリッパーの扱い保定の技術を見直しショークリップの基本工程を実際に行う				

科目	犬種別講習	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	18	授業回数	9
担当教員	鈴木美穂	実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			授業形態	講義	
担当教員	濱本大気	実務経験 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			授業形態	講義	
学習目標	1・2年次に習得した基礎知識を更に深く学び、グルーミングマニュアルで学習したスタンダードを考慮したカットが犬種ごとにでき、更にオリジナルカットやアロマオイルマッサージについても実習する。						
使用教材	モデル犬・グルーミングマニュアル						
評価基準	授業態度 学期末試験						
	テーマ	内容					
1	ビション・フリーゼ	グルーミングマニュアルを使用し、基本的なビション・フリーゼのシザリング技法を実際に行う					
2	プードル (イングリッシュ・サドル・クリップ)	長毛のブラッシング、ピンブラシの使い方、クリッパーの扱い保定の技術を見直しショークリップの基本工程を実際に行う					
3	東洋医学（アロマ）	1.東洋医学とは何か 2.実際のモデル犬を使用し、マッサージ実習					
4	東洋医学（アロマ）	1.オイルの効能について 2.パッドクリーム作り 3.実際のモデル犬で実施					
5	犬の被毛とシャンプー剤について	基礎的な皮膚や被毛について学び、その犬に合ったシャンプー剤を自分で選ぶことができる					
6	犬の被毛とシャンプー剤について	基礎的な皮膚や被毛について学び、その犬に合ったシャンプー剤を自分で選び実際に使用してみる					
7	オリジナルカットのプードルの デザインカット	個体や生活環境に合ったカットをお客様に提案できるよう実習する					
8	オリジナルカットのプードルの デザインカットを実際に実施	1.デザイン画の下描き、コンセプトの提案 2.デザイン画を描く					
9	オリジナルカットのプードルの デザインカットを実際に実施	デザイン画のカットを実施					

科目	社会学	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	16	授業回数	8	
担当教員	小林文香			実務経験 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	授業形態	講義		
学習目標	トリマーとしてのコミュニケーション学の基礎を中心に挨拶、返事の仕方、声の出し方、言葉遣い、身だしなみを学びます。また、仕事の進め方として重要とされている「ほうれんそう」「5W2H」についても学習。ペットショップを想定したロールプレイ式、実習を展開。飼い主の気持ちを理解し、信頼される社会人を目標に学ぶ。							
使用教材	配布資料							
評価基準	授業態度 学期末試験							
	テ		マ		内			容
1	接遇とは		基礎を理解したうえで信頼される社会人になるため接遇の知識を学ぶ					
2	身だしなみの必要性		信頼される社会人になるため身だしなみの重要性を知り取り組む姿勢を学ぶ					
3	正しい敬語の使い方①		信頼させる社会人になるため接遇の知識を学び、言葉遣いを確認。シチュエーションに合った接遇を学ぶ					
4	正しい敬語の使い方②		信頼される社会人になるため接遇の基礎知識を学び言葉遣いを再確認。コミュニケーションの取り方を学ぶ					
5	業界の特性・ルール		信頼される社会人になるため接遇の知識を学び、社会のルール、業界での動向、店内でのコミュニケーションの必要性を学ぶ					
6	電話対応（基礎）		信頼される社会人になるため接遇の知識を学び、ビジネス電話の対応、電話でのコミュニケーションの特性、正確・簡潔・丁寧を学ぶ					
7	接客マナー		1.立ち方や笑顔の作り方、発声の仕方について 2.お辞儀の仕方（角度）や歩き方について 3.言葉遣い、電話の受け方や掛け方について					
8	接客マナー		全ての総復習をロールプレイングで実施					

科目	ハンドリング学科	学科/学年	トリマー高等専攻科 1年	時間数	16	授業回数	8	
担当教員	工藤 公康			実務経験 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	授業形態	講義		
学習目標	ハンドリングの基本を理解し、ショーハンドリングを学ぶ。犬の基本的な見せ方、審査員との距離感を理解する							
使用教材	ハンドリングマニュアル							
評価基準	授業態度 学期末試験							
	テ	ー	マ	内				容
1	知っておくべき基礎知識			日本のドッグショーを考察する。審査のポイントを理解する。				
2	知っておくべき基礎知識			日本のドッグショーを考察する。審査のポイントを理解する。				
3	ハンドリングの基本			小型犬のスタックの手順と触り方、リードの取り扱いや犬とハンドラーの距離感を知る。				
4	ハンドリングの基本			大型犬のスタックの手順と触り方、リードの取り扱いや犬とハンドラーの距離感を知る。フリースタANDINGを理解する。				
5	ハンドリングの基本			歩様とステップ、ムーブメントを理解し、その犬種の特色を把握し、欠点を見せないハンドリングを実施する。				
6	ハンドリングの基本			ウォーク、トロット、ギャロップ、アンブル、ハックニ、ピッチングとローリングを理解し実践する。				
7	ハンドリングの基本			トライアングル、アップアンドダウンによる犬の見せ方を学ぶ。				
8	リードの扱い・犬の扱い			リードの持ち方と確実に犬のアゴ下にリードをかける手技を学ぶ。リードのかけ方、持ち方で犬の反応が変わることを理解する。				

科目	ハンドリング学科	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	16	授業回数	8	
担当教員	工藤 公康			実務経験 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	授業形態	講義		
学習目標	ハンドリングの基本を理解し、ショーハンドリングを学ぶ。犬の基本的な見せ方、審査員との距離感を理解する							
使用教材	ハンドリングマニュアル							
評価基準	授業態度 学期末試験							
	テ	マ	内					容
1	リードの扱い・犬の扱い		リードワークを理解したうえで実際の歩様を見学する。					
2	人と犬の歩行		人が犬の歩行を先導する方法を学び、より良い歩様を考察する。					
3	人と犬の歩行		犬の歩行、静止を学ぶ。人が先導し犬を歩行させ、人が止めたいと思う所で静止させる方法を理解する。					
4	人と犬の歩行		リンク全体の位置関係を把握する。会場の大きさや、地面の状況を見極める判断力を養う。					
5	人と犬の歩行		人と犬の歩様を理解する。他者のハンドリングにも注目し、客観的な見え方を考察。自分のハンドリングを深究する。					
6	人と犬の歩行		ハンドリング審査一連の流れを知る。審査手順、全犬歩行整列、触審、個体歩行の一連の動きを理解する。					
7	人と犬の歩行		ハンドリング審査一連の流れを知る。小型犬での一連の動きを理解する。					
8	人と犬の歩行		ハンドリング審査一連の流れを知る。大型犬での一連の動きを理解する。					

科目	ハンドリング実習	学科/学年	トリマー高等専攻科 1年	時間数	32	授業回数	16	
担当教員	工藤 公康			実務経験 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	授業形態	実技		
学習目標	その犬の持つ最も正しい立ち姿勢を理解し、スタックさせる技術を修得する。また、その犬の持つ最も良い歩様を理解し、正しく歩かせる技術を修得する。							
使用教材	ハンドリングマニュアル							
評価基準	授業態度 学期末試験							
	テ	マ	内					容
1	ショーハンドリングの実践練習①		犬と一緒に歩く。犬の気持ちを考える。実践前の基礎を身につける。					
2	ショーハンドリングの実践練習②		ハンドラーとしての立ち振る舞いを学ぶ。美しい姿勢、歩行動作を身につける。					
3	ショーハンドリングの実践練習③		ドッグショー及びハンドリング試験の全体の流れを理解し、動き方を覚える。					
4	ショーハンドリングの実践練習④		触審テーブル上での犬の立たせ方、重心のコントロールを覚え、審査員との対応を学ぶ。					
5	ショーハンドリングの実践練習⑤		触審テーブル上での犬の立たせ方、重心のコントロールを覚え、審査員との対応を学ぶ。					
6	ショーハンドリングの実践練習⑥		一連のショーハンドリングの中でも、審査員に対応し、動き方を自主的に判断する方法を学ぶ。					
7	ショーハンドリングの実践練習⑦		モデル犬の長所を理解し、その長所を審査員にアピールする方法を学ぶ。					
8	ショーハンドリングの実践練習⑧		モデル犬の長所を理解し、その長所を審査員にアピールする方法を学ぶ。					
9	ショーハンドリングの実践練習⑨		初心に戻り、犬と一緒に歩き、犬の気持ちを考える。実践前の基礎を再度確認する。					
10	ショーハンドリングの実践練習⑩		ハンドラーとしての立ち振る舞いを再度確認する。					
11	ショーハンドリングの実践練習⑪		歩行速度、リードの使い方により犬の歩様が変化することを学ぶ。また、適切なリードワークを理解する。					
12	ショーハンドリングの実践練習⑫		ハンドリング競技会形式で実習。各自のハンドリング技術を評価し、改善点を明確にする。					
13	ショーハンドリングの実践練習⑬		各自の改善点を中心に克服する方法を考察、練習する。					
14	ショーハンドリングの実践練習⑭		J K C公認ハンドラーC級ライセンス資格の合格基準に到達するように練習を重ねる。					
15	ショーハンドリングの実践練習⑮		ハンドリング試験の全体の流れを再度確認する。					
16	ショーハンドリングの実践練習⑯		各自のハンドリング技術を発揮させ、犬とハンドラーが一体となるショーハンドリングを修得する。					

科目	トリミング実習	学科/学年	トリマー高等専攻科 1年	時間数	420	授業回数	210	
担当教員	濱本大気			実務経験 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	授業形態	実技		
学習目標	犬種の特性を理解できることはもちろん、個体の性格を見極め適正な対応ができる力を育て、ショーダッグの管理やお手入れの方法を学ぶ							
使用教材	実習犬・グルーミングマニュアル・道具一式							
評価基準	授業態度 技術習得度							
	テ	マ	内					容
1	ショークリップの基本工程・トリミングマナーの入れ方・道具の使い方・ペットクリップ		長毛のブラッシングの的確な手順と保定で、作業に無駄を作らず行う・ピンブラシの使い方、お手入れ方法・完成度の高いペットカットの追求					
2	ショークリップの基本工程・クリッピング・保定・ペットクリップ		クリッパーの扱い方と保定の技術を見直して、ショークリップの基本のテクニックの解説と実践					
3	ショークリップの基本工程・セットアップ・ペットクリップ		セットアップの手順やパーティングのポイントを知り、被毛や毛色にあったスプレー剤を使用し、バランスを考慮し作り上げる・ペットカットの追求					
4	ショークリップ・最終予選に向けての一連の流れ・ペットクリップ		時間を計り、ショークリップの一連の作業を行う。最終予選に向けての細部の調整をし、完成度を高める					
5	ショークリップ・全体のバランスの調整・ペットクリップ		2時間という中で全体のバランスを意識して、無駄のない作業ができるようにする。また、ペットクリップは犬に負担をかけずに仕上げることができる					
6	ショークリップ・ペットクリップ		ショークリップでは、完成度が安定しており、なおかつ決められた時間に仕上げられる・様々なペットクリップが2時間で仕上げられる					

科目	トリミング実習	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	420	授業回数	210	
担当教員	鈴木美穂			実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	授業形態	実技		
学習目標	ショークリップの洗練さをタイプの違う実習犬で追求し、ドッグショー出陳までのコンディション作りを学び、アレンジカットのバリエーションを増やす							
使用教材	実習犬・グルーミングマニュアル・道具一式							
評価基準	授業態度 技術習得度							
	テ	マ	内					容
1	ショークリップ・ペットクリップ		タイプの違う実習犬のお手入れや、長所・短所を知りカバーしてカットする・作業効率を上げる					
2	ショークリップ・ペットクリップ		ドッグショー参加にあたり、最前のコート管理とコンディションを整える・ペットカットのスキルアップ					
3	ドッグショー参加へのスキルアップ ・ショーマナー		ドッグショー参加にあたり、静止した状態だけでなく、動いた時でも完成度が変わらないよう追求する					
4	ショークリップ全体のバランス ・ペットクリップ		最終予選のラストカットに向かってチャンピング、ブローなどのスキルを高め、仕上りの美しさを最大限表現できる					
5	ショークリップ・ペットクリップの応用		試験を想定して繰り返し練習し、完成度の安定を目指す					
6	ショークリップ、ペットクリップの洗練		即戦力を目指し、トリミング技術の最終調整					